

科目名	MA実習Ⅱ		担当講師	田莉子 和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3 期	MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識を修得する。				
4 期	音声編集、同期関係、作業の向上を目標とし、MA作業の知識と技能を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	授業ガイダンス／MA作業準備について			
2	11月1日	MA作業準備 / 整音について			
3	11月15日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)			
4	11月29日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(2)			
5	1月17日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(3)			
6	1月31日	整音／ミックスについて			
7	2月14日	実技習得度判定試験／定期試験対策／まとめ			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	42 時間中 15 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	ラジオ実習Ⅱ			担当講師	小林 雅和
講師実務経験	元広告代理店勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	聴いていて楽しくなるラジオ番組づくりを修得する。				
4期	リスナーにとって有益な情報を番組に盛り込む手法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	ガイダンス。班分けして担当決め、企画考案決定、台本作成、音源選定・整理、リハーサル、だめ出し、本番、検聴、反省会。「音楽番組をつくってみる」			
	10月25日				
2	11月1日	班分けして担当決め、企画考案決定、台本作成、音源選定・整理、リハーサル、だめ出し、本番、検聴、反省会。番組テーマ「情報番組をつくってみる①」			
	11月8日				
3	11月15日	班分けして担当決め、企画考案決定、台本作成、音源選定・整理、リハーサル、だめ出し、本番、検聴、反省会。番組テーマ「情報番組をつくってみる②」			
	11月22日				
4	11月29日	班分けして担当決め、企画考案決定、台本作成、音源選定・整理、リハーサル、だめ出し、本番、検聴、反省会。番組テーマ「生放送形式の番組をつくる①」			
	12月6日				
5	1月17日	班分けして担当決め、企画考案決定、台本作成、音源選定・整理、リハーサル、だめ出し、本番、検聴、反省会。番組テーマ「生放送形式の番組をつくる②」			
	1月24日				
6	1月31日	おさらい。試験対策。			
	2月7日				
7	2月14日	「バレンタイン」ラジオ番組を作成してみる。			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論Ⅱ			担当講師	森本 信		
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネージメントほか						
対象学年	1	学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	講義
期 間	3期・4期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	音響機器・音楽録音技術を習得する						
4期	音楽制作・検定試験対策を習得する						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月19日	音響機器(音楽スタジオ)					
2	10月26日	音響機器(マイクロフォン)					
3	11月2日	音響機器(ミキシングコンソール)					
4	11月9日	音響機器(エフェクター・レコーダー・モニター)					
5	11月16日	録音技術(収録の仕方、作業進行など)					
6	11月30日	録音技術(楽器録音、ボーカル録音など)					
7	12月7日	音楽著作権					
8	1月18日	音楽制作					
9	1月25日	次世代音響システム					
10	2月1日	検定試験対策					
11	2月8日	検定試験対策					
12	2月15日	検定試験対策とまとめ					
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	JAPRSサウンドレコーディング技術概論、ほか						
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可⇒進級ができません(留年となります)						

科目名	放送音声		担当講師	種田 俊二	
講師実務経験	放送局勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態 講義
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
3期	放送における「音声」の重要性を知り、「音声」の原理を修得する。				
4期	マイクやレベルメーター、ワイヤレスなど、音声機材の基礎知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月19日	授業ガイダンス 音声の大切さについて			
2	10月26日	音と音声信号の基礎知識①			
3	11月2日	音と音声信号の基礎知識②			
4	11月9日	バランスとアンバランスについて①			
5	11月16日	バランスとアンバランスについて②			
6	11月30日	マイクの基礎知識①			
7	12月7日	マイクの基礎知識②			
8	1月18日	マイクの基礎知識③			
9	1月25日	レベルメーターの種類と原理			
10	2月1日	リミッター、コンプレッサーの原理			
11	2月8日	リミッター、コンプレッサーの原理			
12	2月15日	ワイヤレスマイクの基礎知識			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	機材メンテナンス I		担当講師	福岡 博美	
講師実務経験	札幌のレコーディングスタジオにて、各種音響、録音、ゲームSE制作、CM同録などを経験、2009年から同業フリーランスになる。				
対象学年	1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻	授業形態	演習
期間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
3期	XLRコネクタを使用したケーブル作成の下処理を修得する。				
4期	XLRコネクタを使用したケーブル作成のはんだ付けを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月19日	授業ガイダンス/XLRコネクタのしくみについて			
2	10月26日	ケーブルの被覆剥き①			
3	11月2日	ケーブルの被覆剥き②			
4	11月9日	予備はんだについて			
5	11月16日	実技修得度確認①			
6	11月30日	ケーブルの被覆剥き③			
7	12月7日	はんだ付け練習①			
8	1月18日	はんだ付け練習②			
9	1月25日	はんだ付け練習③			
10	2月1日	実技修得度確認②			
11	2月8日	モノラルフォンコネクタについて			
12	2月15日	前期講義まとめと試験対策			
評価方法	B評価 定期試験(筆記試験)点数50%+実技習得度50%				
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM実習		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	楽曲配信経験 / BGMサイト楽曲提供 /DTMレッスン教室運営経験				
対象学年	1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	DAW(Cubase)の基本操作、楽曲の構成、音色の仕組みを修得する。				
4期	トレンドを取り入れた曲作りの基礎を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	授業ガイダンス / DTM、DAWとは;Cubaseの基本操作と実践			
2	10月20日	トレンドを取り入れた曲作り1-1 ドラムの打ち込み、ベースの打ち込み			
3	10月27日	トレンドを取り入れた曲作り1-2 コードの打ち込み、リードの打ち込み			
4	11月10日	トレンドを取り入れた曲作り1-3 レイヤーテクニック、曲の構成について			
5	11月17日	トレンドを取り入れた曲作り1-4 効果音、エフェクト、オートメーションについて			
6	11月24日	コードボイスングについて、コード進行について、定番のコード進行について、音域			
7	12月1日	トレンドを取り入れた曲作り2-1 サンプルファイルの活用法、SPLICE SOUNDとは			
8	1月19日	トレンドを取り入れた曲作り2-2 ドラムの打ち込み リズムパートの強化方法			
9	1月26日	トレンドを取り入れた曲作り2-3 ベースの打ち込み、フレーズの作り方、サイドチェイン			
10	2月2日	トレンドを取り入れた曲作り2-4 コードの打ち込み オープンボイスング			
11	2月9日	トレンドを取り入れた曲作り2-5 ボーカルチョップ			
12	2月16日	楽曲の仕上げ(ミキシング・マスタリングに便利なプラグイン紹介) SNSなどを活用したオリジナル楽曲の配信方法について			
評価方法	作品提出評価(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音楽理論		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	ESP MUSIC SCHOOL ベース講師経験 / 洗足学園魚津短期大学音楽科コントラバス専攻卒				
対象学年	1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	音楽の基礎を通して、音符・休符・拍子・音楽記号・各楽器・音階・調号を理解修得する。				
4期	楽譜の進行を読み取れるよう修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月15日	授業ガイダンス / 音楽基礎の確認テスト			
2	10月22日	音楽基礎① テストの総評と音楽の基本を復習			
3	10月29日	音楽基礎② 音符・休符の種類を復習 / MIDIやDAWについて			
4	11月5日	音楽基礎③ 様々な楽器の奏法について			
5	11月12日	音楽基礎④ リズムトレーニング①			
6	11月19日	音楽基礎⑤ リズムトレーニング②			
7	11月26日	音楽基礎⑥ 最新楽曲で使用される音色について			
8	12月3日	音楽基礎⑦ コード/ディグリーネーム/ダイアトニックコード			
9	1月21日	譜面の理解度チェック			
10	1月28日	譜面トレーニング①			
11	2月4日	譜面トレーニング②			
12	2月18日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間以上の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	A、B組 全専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	企業情報を収集し、就職計画を立てる。応募書類を理解し、受験に備える。				
4期	一般常識を学び、受験に備える。受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月15日	就職用写真の撮影準備について/自己PR作成			
2	10月22日	求人検索方法、就職支援サイト利用方法について/志望動機作成のポイント			
3	10月29日	応募条件について考える/志望動機、自己PR作成			
4	11月5日	学校書式の履歴書について/履歴書作成練習			
5	11月12日	就職活動計画見直し/履歴書作成練習			
6	11月19日	エントリーシートの質問項目と解答例			
7	11月26日	応募書類について/履歴書作成練習			
8	12月3日	就職希望調査書配布説明/履歴書作成練習			
9	1月21日	筆記試験対策(一般常識)/エントリーシート作成練習			
10	1月28日	筆記試験対策(SPI)/エントリーシート作成練習			
11	2月4日	面接対策			
12	2月18日	春休み中に出来る事/3月の求人公開に向けて			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12回中5回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				



科目名	時事研究		担当講師	斎藤 忠貞	
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	A,B組 全専攻		授業形態 講義
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
3期	日常のニュースの詳細とその背景を考える。また、あらゆる分野について現状分析と問題点を理解し修得する。				
4期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月15日	世界情勢① 米国と中国Ⅰ。			
2	10月22日	世界情勢② 米国と中国Ⅱ。			
3	10月29日	世界情勢③ 香港・チベット問題。			
4	11月5日	世界情勢④ 尖閣と台湾。			
5	11月12日	世界情勢⑤ 中東情勢Ⅰ。			
6	11月19日	世界情勢⑥ 中東情勢Ⅱ。			
7	11月26日	環境汚染問題① 石炭と温暖化。			
8	12月3日	環境汚染問題② 福島原発の今。			
9	1月21日	環境汚染問題③ プラスチックゴミの恐怖。			
10	1月28日	環境汚染問題④ 海面上昇の現実。			
11	2月4日	環境汚染問題⑤ 進む森林破壊。			
12	2月18日	環境汚染問題⑥ 汚染される食品。			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				